

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	下松木内地区統合簡易水道整備事業費					
担 当 課 係 名	企業局 工 務 課		工 務 係		作成者	田中 司
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち				総合計画の ページ
	基本計画	水道の安定供給と施設の整備				
	主要施策	施設の維持管理				76
予 算 費 目	簡易水道事業特別 会計		2 款 事業費	1 項 簡易水道事業費	1 目 事業費	
事 業 期 間	平成 15 年度 ~ 平成 21 年度			新規 / 継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☒ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等						
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	簡易水道区域内の給水対象者。				
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	松木内地区・潟野地区の簡易水道施設を整備統合し、潟野地区の水量不足を解消すると共に、安全で安定した良質の水道水の供給を図ることを目的とする。				
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	配水管布設 硬質塩化ビニル管水道管 VWP φ 1 0 0 mm L= 2 5 1 . 3 m				

【事務事業の推移】

（単位：千円）

		項 目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	有収率	%	66.40	55.90	
		総配水量	m ³	122,563	131,725	
	成果指標	有収水量	m ³	81,392	73,691	
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)		36,146	13,932	22,214	
	財源内訳	国庫支出金	11,897	4,493	7,404	
		県支出金	0	0	0	
		地方債	23,900	9,100	14,800	
		その他	349	339	10	
		一般財源	0	0	0	
	人件費 (B)		—	3,927	3,228	
		職員数	—	0.5	0.4	
		職員平均人件費	—	7,853	8,071	
	(A) + (B) 投下コスト		—	17,859	25,442	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	268,961	455,134	
			—	146	193	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	560	810	

【事務事業の今までの成果】

統合整備をしたことにより、安全で安定した良質な水道水の供給を提供している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	潟野地区が水量不足のため、早期改善が望まれている。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	潟野地区の水量不足を解消すると共に、さらに、施設の一体化、経営の一元化を行い水道事業の効率化及び地域住民の生活環境の向上を図るものである。よって、A判定と判断した。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	水量不足を解消すると共に、施設の一体化等による水道事業の効率化が図られ、引き続き事業の推進が必要と考える。

一次評価診断図

